

# FMS便り

第4号

令和6年7月30日(火)

信州大学教育学部附属松本小学校

## 学びを修める

### 1学期終業式(7月22日) 校長講話

修学旅行って、どんな旅行でしょうか。6年生のみなさんが7月に2日間修学旅行に行ってきたので、そのお話をします。ただのお楽しみの旅行だったのかな?という疑問をもちながら聞いてください。

国会議事堂



国立科学博物館



まず行ったのは、国会議事堂です。日本の国の政治を進めている場所です。長野県の国会議員の人が来てくれて、お話してくれました。話し合いをしている場所を実際にみました。ここでいろいろな法律を決めているんだとか、日本の仕組みを決めているんだという大切な場所です。こちらは東京タワーです。右側の写真わかる?床がガラス張りになっているんです。余裕そうに見えますけど、高いところが苦手な人は

怖いんです。見るだけではなくついに、床の上に寝転がって実際に感じています。体で感じる怖さです。国立科学博物館では1万年以上前に住んでいた古代人。そして、その近くに現代人も見てきました。6年生の人たちが飾られていました。さらに、日本の伝統文化を体験するという事で、3種類の伝統工芸を体験してきました。栞づくり。ガラス細工。食品サンプル。浅草ではお土産を買ったり、お参りをしたり、おみくじを引いたり、浅草の名物に触れる体験してきました。長野県に海はありませんから、修学旅行の中で船に乗って東京湾に出て、海を感じてきました。ただ船に乗っているだけではなくて、一日目の夕飯は船の中でバイキング。そしてホテルについて、ホテルの正面にあったのが東京都庁です。夜になると45億円かけて演出したイルミネーションが見られました。6年生の行ってきた修学旅行はただのお楽しみではなく、五感を通じて、見て、触れて、聞いて、知識を得る、まさに学びを修める旅行だったなと思います。



もう一つ、6年生の思いがよく表れた場面がありました。当日は36度でとても暑いだけじゃなくて、蒸し暑くて大変でした。でも6年生のみなさんは、遅れないように集まって次の行動に移っていました。先ほどお話した伝統工芸を体験した後、何をしているのかなと思ってみたら、きれいに使った道具を整頓していました。修学旅行中、3回バイキング食べ放題でした。帰りがけにふとテーブルの上を見ると、きれいに

片付けやすいようにお皿やはしが並べられていました。こういう風にしてくださいと言われたわけではないけれど、片付ける人のことを思って行ったことです。見えないことが見えている6年生だなと思いました。旅行の一つの楽しみの中にお家の人にお土産を買うということがあります。お家の人にとってほしいなといわれて買ったり、自分の分は少なくしてお家の人にたくさん買ったりそんな家族への思いが表れている様子がありました。1年生から5年生の中でもお兄さん、お姉さんがいてお土産を買ってきてくれたという人がいると思います。みなさんも6年生になって、お土産が買えるといいですね。夜は一日が終わってとても疲れていたのですが、部屋に戻って一日の反省をしたり、次の日の打合せをしたりしました。最後にこの姿を見た時に、自分を振り返って考えて実行する力が修学旅行を通してついたのではないかなと思いました。修学旅行が成功した陰には、担任の先生と6年生との信頼関係、つながりというのを感じて、とても大切だなと思いました。

5年生のみなさんに話しますね。東組の代表の人がゆずとらんの安全、安心な毛刈りができてよかった、自分の成長を感じたと話してくれました。それぞれの役割が見えたこと、とても大切ですね。そういうことを今から積み重ねていくと5年生のみなさんも修学旅行が成功すると思います。同じように西組の代表の人の話によると、箒の先ってどうなっているの？という友だちの一つの疑問から活動につながってきました。とても大事ですよ。修学旅行に行くにあたって、ただ行くのではなく、ここどうなっているの？という疑問をもちながら行くということが大切だなと思いました。このように修学旅行に行けるのも、安全に学校生活を行っているからです。

行事・授業のポイント

**自らを振り返り**

**考え・実行する力**

ところに危険があります。自分で考えて、危険を回避する、お家の人と行動するなど、安全に楽しんでもらいたいと思います。

また、夏休み明けみなさんに元気に会えることを楽しみにしています。終わります。

疲れていても...



感謝の気持ち



見えないものが見えている

